

# デジタルヘルス株式ファンド

追加型投信／内外／株式

DIGITAL  
HEALTH

お申込みの際は、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは



商号等：今村証券株式会社  
金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号  
加入協会：日本証券業協会

■設定・運用は



商号等：T&Dアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第357号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会



デジタルヘルス株式ファンドは  
ヘルスケアの課題を解決する革新的テクノロジーを持つ

“**ピュア・プレイヤー企業**”

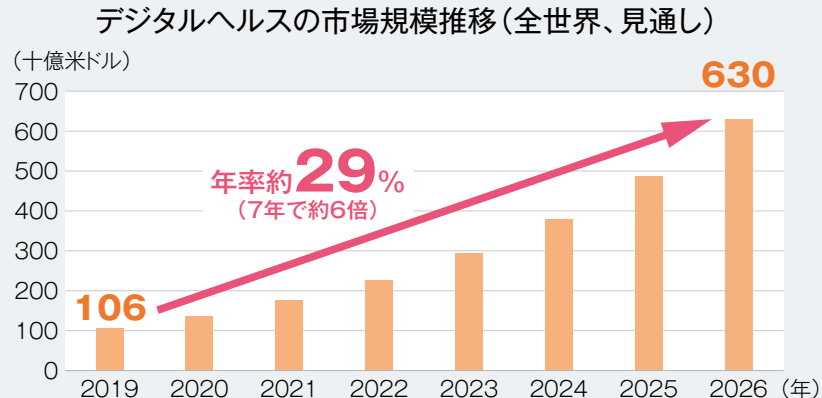
への投資を通じて、  
社会貢献と投資収益を追求していきます

デジタルヘルス分野による収益が、企業収益の50%以上を占めている企業（ピュア・プレイヤー）のみを投資対象とします。

# 2020年代はデジタルヘルス革命の時代へ 医療の課題に挑むデジタルヘルス

当ファンドの運用チームはデジタルヘルスを  
従来のヘルスケアのシステムを根本から変えるポテンシャルを持った革新的なテクノロジー  
と定義しています。

2020年代にデジタルヘルスの市場規模は約6倍に  
拡大すると予想されています。



期間:2019年~2026年(年次)、2020年以降は予想  
出所:クレディ・スイス・アセット・マネジメントのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

医療の課題解決に向けた医療環境の変化

医療の課題

医療費の増大

生活習慣病の増加

医療従事者の不足

デジタルヘルス

これまで

診察、治療、  
薬投与が中心

これから

検査、予防、先制医療、  
在宅医療、治療後の  
日常的なケアを含む  
トータルケア

当ファンドはその恩恵を最も受ける

**ピュア・プレイヤー**(デジタルヘルス分野で収益の**50%以上**を占める企業)を厳選して長期投資します。

上記は過去のデータまたは将来の予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# デジタルヘルス関連企業への投資を通じて SDGsの達成に貢献

デジタルヘルス関連企業への投資を通じて、SDGsの目標のうち

**目標3「すべての人に健康と福祉を」**

**目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」**

を中心に、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

## 世界が取り組む17の国際目標

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標で構成されます。

|                         |                 |                      |                    |                         |                    |
|-------------------------|-----------------|----------------------|--------------------|-------------------------|--------------------|
| 1<br>貧困をなくそう            | 2<br>飢餓をゼロに     | 3<br>すべての人に健康と福祉を    | 4<br>質の高い教育をみんなに   | 5<br>ジェンダー平等を実現しよう      | 6<br>安全な水とトイレを世界中に |
| 7<br>エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8<br>働きがいも経済成長も | 9<br>産業と技術革新の基盤をつくろう | 10<br>人や国の不平等をなくそう | 11<br>住み続けられるまちづくりを     | 12<br>つくる責任つかう責任   |
| 13<br>気候変動に具体的な対策を      | 14<br>海の豊かさを守ろう | 15<br>陸の豊かさを守ろう      | 16<br>平和と公正をすべての人に | 17<br>パートナーシップで目標を達成しよう |                    |

3

すべての人に健康と福祉を



### 目標 3

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

目標3には、「すべての人々に質の高い基礎的なヘルスケア・サービスを普及および安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンの提供を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。」というターゲットが掲げられています。

UHCとは「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」ことを意味し、すべての人が経済的な困難を伴うことなく保健医療サービスを楽しむことを目指しています。

9

産業と技術革新の基盤をつくろう



### 目標 9

強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る

目標9には、「すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。」というターゲットが掲げられています。

出所:各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

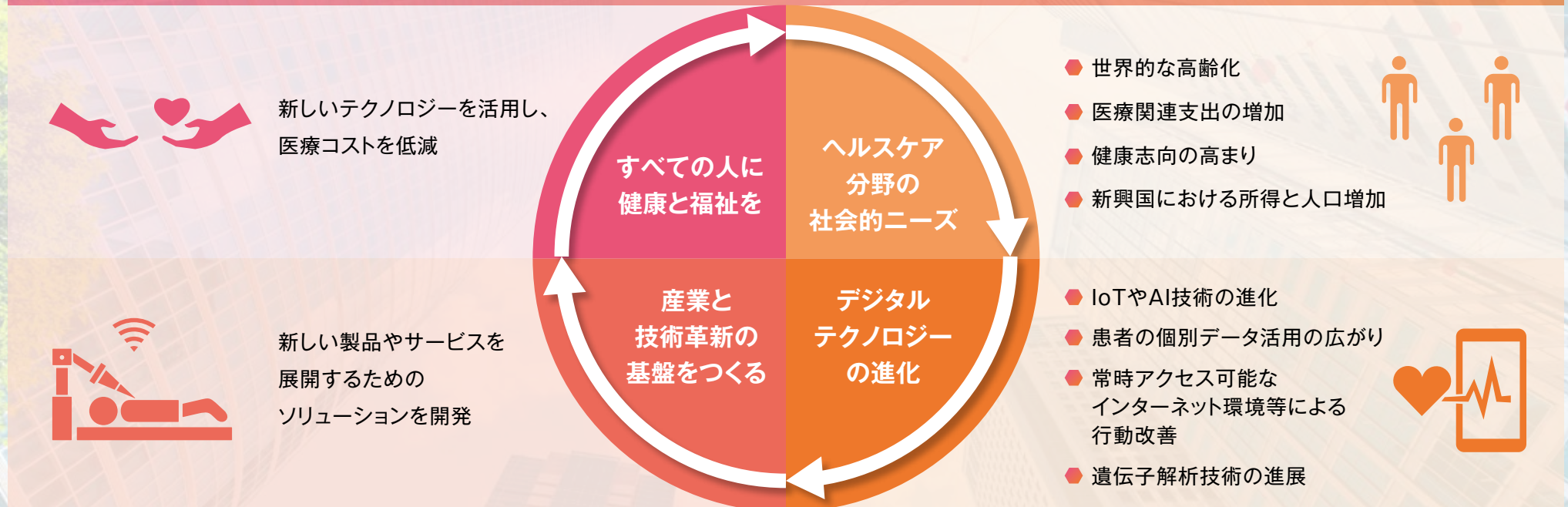
上記はSDGs(持続可能な開発目標)の説明の一部であり、すべてを網羅したものではありません。将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# 社会的課題の解決につながるデジタルヘルス株式投資

デジタルヘルスに関連するさまざまな分野でイノベーション（技術革新）が起こりつつあります。

この大きなイノベーションは、わたしたちの未来を大きく変えようとしています。

## デジタルヘルス企業に対する社会的ニーズの高まり



## デジタルヘルス分野での社会的課題解決の例

### 低コストの医療アクセス



デジタル技術、リモートでの医療サービスを提供するベンチャー・ヘルスケア企業に投資することで、医療コストの削減に貢献。

### 研究環境の改善



化学シミュレーションソフトを開発する企業への投資を通じて、遺伝子解析、製薬シミュレーションのコストの大幅な削減。患者の負担を軽減する医療研究の改善につなげる。

### 患者の生活の質向上



例えば、糖尿病の患者向けに革新的なモニタリングシステムを開発した企業へ投資。糖尿病患者の生活の質を向上させる。

出所:各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記はイメージの一部であり、すべてを網羅したものではありません。将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# ファンドの特色と仕組み

## ファンドの特色

### 1 主として世界各国（日本を含む）のデジタルヘルス企業の株式等に実質的に投資します。

- 株式等への投資は、CS・インベストメント・ファンズ 2-クレディ・スイス（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-EB JPYクラス（日本円クラス、以下、「主要投資対象ファンド」という場合があります。）への投資を通じて行います。
- 主要投資対象ファンドの運用は、クレディ・スイス・アセット・マネジメント（スイス）エイジーが行います。
- 主要投資対象ファンドにおける組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

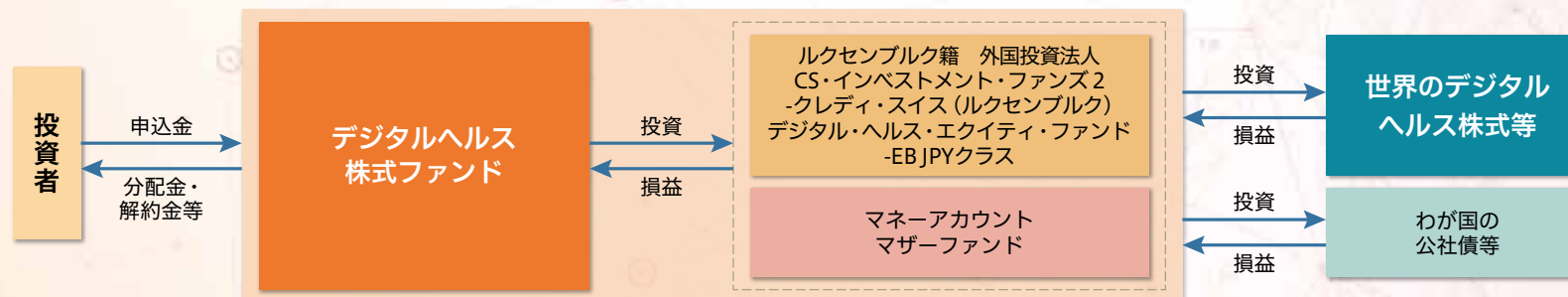
#### 【デジタルヘルス企業とは？】

従来のヘルスケアのシステムを根本から変えるポテンシャルを持った、**革新的なテクノロジーを持つ企業**をいいます。

### 2 株式等への投資にあたっては、ピュア・プレイヤーを厳選します。

- ピュア・プレイヤーとは、デジタルヘルス企業の中でも、デジタルヘルス分野からの収益の割合が50%以上を占める企業をいいます。
- ピュア・プレイヤーに厳選投資することで、デジタルヘルス分野以外の事業を多く行う企業の株式等が組み入れられることを防ぎ、よりファンドのコンセプトに沿った、デジタルヘルス分野の成長からの恩恵を享受できる銘柄選択を目指します。
- 投資プロセスの中にサステナブル投資フレームワークを形成するESGのアプローチを取り入れています。

## ファンドの仕組み



資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

# 医療分野で進展するデジタルイノベーション

デジタルイノベーションとはデジタル技術の活用によりビジネスモデルを変革し、新たな価値を生み出すこと。

デジタル技術の活用やデータ解析の精度向上により、新たな医療技術の開発が早いペースで進んでいます。  
今後5年～10年の間に、ヘルスケアのあらゆる分野にテクノロジーが導入され、医療の効率化が進むと予想されています。

## 予防・ 早期診断

- ゲノム診断
- AIによる画像診断

病気を早期に発見でき、  
より効果的な治療が行えるようになる。

ゲノムとは、DNAのすべての遺伝情報のことで、遺伝子がDNAの特定の部分を指すのに対してゲノムはもっと広いすべての遺伝情報を指します。  
ゲノム解析により患者個人の体質や病気の特性に合わせた治療が行えるようになります。

## 治す医療

- 遺伝子治療
- 再生医療
- バイオ医薬品

患者個人に最適な治療が提供され、  
多くの患者がより健康的な生活を送ることができるようになる。

バイオ医薬品とは、遺伝子工学を応用した方法で微生物や動物細胞の働きを利用して作る薬のことです。大量生産が可能になり医薬品にかかるコストが低減されます。

## 支える医療

- オンライン診療
- オンライン服薬指導
- 治療アプリ
- 遠隔モニタリング

診察はオンライン、治療はアプリで行う  
時代に。医療従事者の負担が軽減し、  
効率的な医療が提供される。

## デジタルの活用で医療のプラットフォームが変わる 見えてくる医療のパラダイムシフト

出所:各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記はイメージの一部であり、すべてを網羅したものではありません。将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# 広がるヘルスケアサービス

これまでは健康診断結果や体調悪化を機に治療が開始されていました。

これからはデジタル技術の進展により新しい医療機器やサービスが生み出され、医療の幅が広がっていきます。

予防からケアまでのトータルサービスの中で、継続的にいつでも、自身の健康状態を良好に維持するための多様なヘルスケアサービスを楽しむことができるようになることが予想されています。



## デジタルの活用で予防からケアまでのトータルサービス

※DTC (Direct-to-Consumer) 遺伝子検査とは直接消費者に提供される遺伝学的検査のことです。疾患罹患リスクや体質を知り、生活習慣を是正することを目的としています。  
出所:各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記はイメージの一部であり、すべてを網羅したものではありません。将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# 始まるテーラーメイド医療

将来的に、患者個人の医療データ(ゲノムデータ等)に基づき、最適な治療方法が分析・選択された上で、治療を受けられるようになることが考えられます。

また、在宅医療を支える様々なソリューションが開発され、病院に行くことなく、在宅にて多様なサービスが受けられるようになることが考えられます。

## これまでの医療

### 臨床試験(治験)データに基づいた医療

薬効があらわれなかったり、副作用が出るケースもあり、すべての患者に有効な治療法とはいえない



### 病院での診察



### 薬局での服薬指導



## これからの医療

(イメージ)

### 個別化された精密医療

患者個人の医療データ(遺伝子情報・リアルワールドデータ※・脈拍、血圧、体温などのバイタルデータなど)に基づき、最適な治療方法を分析・選択し、それを施す医療へ進化  
患者個人の遺伝情報を分析して、適切な治療を行うため、副作用が少なく高い効果が期待できる

例

がんゲノム医療  
遺伝子治療



同じ遺伝子構造を持つ患者を同じ色で表現

※リアルワールドデータ: レセプト(診療報酬明細書)や電子カルテなど、臨床現場で得られる診療行為に基づく匿名化された医療ビッグデータ

### 在宅医療・遠隔モニタリングで

### 連続的に正確な健康状態をとらえるトータルケア

病院



オンライン診療

問診/音声・チャットで回答

データ送信

処方箋

薬局



オンライン薬局

服薬指導  
処方箋配送

自宅

スマートフォン  
など 患者



治療アプリ

服薬管理システム

モニタリング機器



出所: 各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記はイメージの一部であり、すべてを網羅したものではありません。将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# ファンドが投資するのは3つのテーマにおけるピュア・プレイヤー

収益の50%以上をデジタルヘルス分野から上げる企業(ピュア・プレイヤー)にのみ投資します。

ピュア・プレイヤーにフォーカスし、ボトムアップでのファンダメンタルズ分析に基づき、確信度の高い銘柄へ投資します。

ファンドはクレディ・スイス・アセット・マネジメントのデジタルヘルス株式戦略(以下、当戦略といいます)を活用して運用を行います。

## 3つの魅力的なサブテーマへ投資

治療(投資配分:約40%)

効率化(投資配分:約40%)

研究・開発(R&D)(投資配分:約20%)

投資配分は目安であり、今後変更となる可能性があります。  
R&DはResearch and Developmentの略

治療

- バイオテクノロジーのプラットフォーム
- 医療テクノロジー
- 手術ロボット
- 個別用に開発された薬
- 次世代インプラント・バイオニクス

研究・開発  
(R&D)

- ライフサイエンスのツール・サービス
- 研究機関の自動化ツール
- AIによる診断
- 次世代シーケンス(遺伝子解析)
- 研究機関での受託

効率化

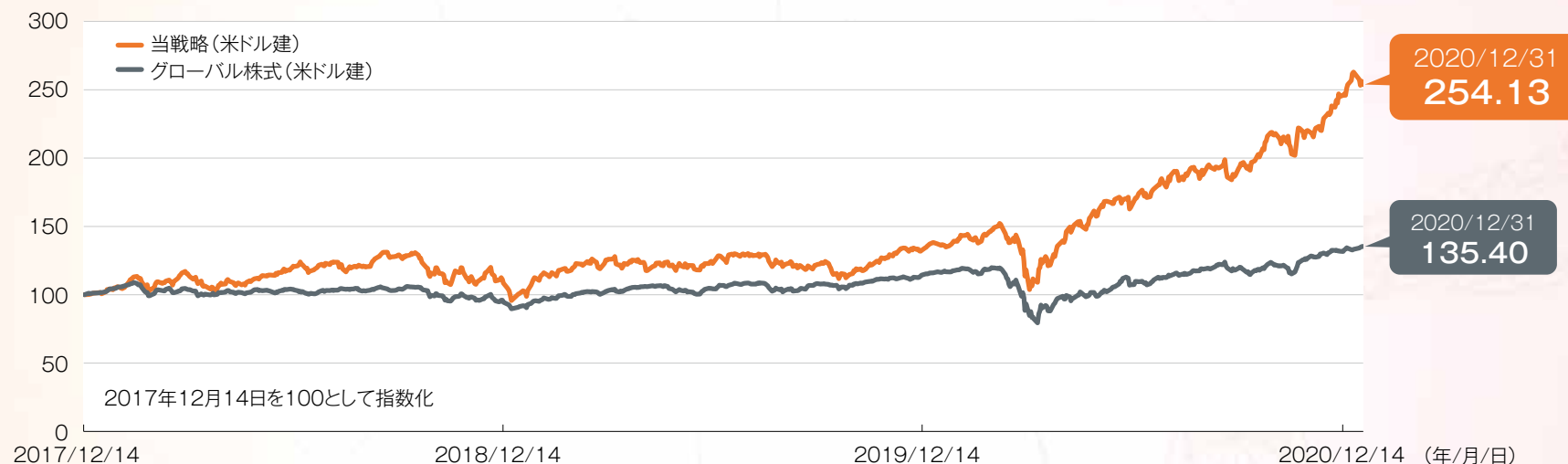
- 病院/クリニックにおける効率化
- 電子カルテ
- 個人向けモニタリング器具
- ビッグデータによる健康分析
- 臨床情報学
- 遠隔医療
- オンライン薬局

出所:クレディ・スイス・アセット・マネジメントからの情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

# 当戦略のパフォーマンス(2020年12月末現在)

下記はクレディ・スイス・アセット・マネジメントが運用するルクセンブルク籍外国投資信託「クレディ・スイス（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド(米ドルクラス)」のグロスリターンから、当ファンドにかかる信託報酬(年率、税込: 2.188%)を控除したものです。当戦略の過去の運用実績を紹介するものです。なお当ファンドは日本円クラスに投資しますので為替変動の影響を受けます。



|               | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去1年  | 最大下落率  |
|---------------|-------|-------|-------|--------|
| 当戦略(米ドル建)     | 9.7%  | 26.4% | 85.9% | -31.8% |
| グローバル株式(米ドル建) | 4.6%  | 14.7% | 16.3% | -33.7% |

|               | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|---------------|-------|-------|-------|
| 当戦略(米ドル建)     | 2.2%  | 32.7% | 85.9% |
| グローバル株式(米ドル建) | -9.4% | 26.6% | 16.3% |

期間:2017年12月14日~2020年12月31日(日次)  
 2017年12月14日はクレディ・スイス（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド(米ドルクラス)の設定日です。  
 使用したデータについては、最終ページの「当資料で使用するデータについて」をご参照ください。  
 出所:クレディ・スイス・アセット・マネジメント、MSCIのデータに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# 投資フレームワーク

## ■ ピュア・プレイヤーに投資

デジタルヘルス分野による収益が、企業収益の50%以上を占めている企業のみを投資対象とします。確信度により、1銘柄当たり、1.0%~4.0%のウェイトで投資します。投資配分は目安であり、今後変更される可能性があります。

## ■ 中小型サイズの企業へ投資

ピュア・プレイヤー、革新的な企業、起業家精神あふれる企業にフォーカスしているため、中小型株への投資が多くなっています。

## ■ 長期的な視点で投資

基本的に7-10年の投資期間を前提に投資します。短期的な動向に惑わされず、業界の全体像を把握し、構造的な変化も捉えることが可能です。長期的なアプローチに基づいており、ファンドの回転率は通常低くなります。

## ■ サステナブル投資

当戦略は、クレディ・スイス・アセット・マネジメントのサステナブル投資フレームワークで定義されたESG持続可能性基準を満たしています。

### サステナブル投資フレームワークを形成するESGのアプローチ



#### ● ネガティブスクリーニング

規範基準、論争関与、バリュー基準を基に特定のセクターや個別企業を除外

#### ● ESGインテグレーション

運用プロセスの一部として、ポートフォリオ・レベルでESG関連リスクおよび機会を把握、企業に関して包括的な分析を行い、より良い投資判断を実現するため、ESGの知見を伝統的なファンダメンタルズ分析に組み合わせる

#### ● ESGレポートिंग

評価を月次レポートにて開示

#### ● 積極的なオーナーシップ

ESG原則に基づく議決権行使、エンゲージメント

投資対象とする外国投資信託は投資プロセスの中にESGのアプローチを取り入れており、ESG投資の評価機関であるLuxFLAGよりESG LUXFLAG Labelが付与されています。



ESG LUXFLAG LabelはLUXEMBOURG FINANCE LABELLING AGENCY (LuxFLAG) が発行しています。LuxFLAGは、ルクセンブルク政府、欧州投資銀行、ルクセンブルク証券取引所などが中心となり、2006年に設立された国際的な非営利団体です。サステナブル投資を促進するため、LuxFLAGは候補のファンドが実際に投資プロセス全体を通してESG基準を組み込んでいるかどうかを独自基準に基づいて判断し、クリアした戦略にはこのラベルを付与します。このラベルは年次更新であり、定期的に基準をクリアしているかをチェックしています。

# 投資プロセス

投資先株式の銘柄選定プロセスは、すべてボトムアップです。

ヘルスケアのシステムを根本的に変えることができる革新的なテクノロジーや、ヘルスケアのコストを削減し、患者の生活改善につながるような開発を行うピュア・プレイヤー企業に投資します。デジタルヘルス分野の企業だとしても、テクノロジーの革新における先駆者ではない企業へは投資しません。

ポートフォリオに含まれるすべての株式は、下記4項目のうち、少なくとも3つをクリアしなければなりません

4項目すべて当てはまる場合 2.0%~4.0%の組入比率で投資開始

3項目当てはまる場合 0.5%~1.0%の組入比率で投資開始

2項目以下 投資しない

## 1 起業家精神

長期的ビジョンと起業家精神を持つ企業を選考

## 2 製品およびテクノロジー

世界をリードする製品およびソリューションを提供するような企業を嗜好

## 3 財務

財務情報を徹底的に分析  
赤字企業の場合、収益性を上げるための道はどのようなものか  
長期的な成長ポテンシャルとバリュエーション分析

## 4 競争力

業界内のポジションや知的財産、顧客リレーション、ブランド、ビジネスモデルなどの分析

## グローバル株式のユニバース

約40,000の上場株式

## デジタルヘルスにかかる 広範なユニバース

約400の  
デジタルヘルス関連株式

## デジタルヘルス分野のピュア・プレイヤー

企業収益の50%以上をデジタルヘルス分野で上げる  
約200-250の株式

- ・ テーマ株式アドバイザリー・ボード
- ・ ESGのアプローチ

テーマ株式アドバイザリー・ボードからの情報のインプットやフィードバックを通じて、業界や医学学会の最新の情報が得られており、運用をサポートする体制が整備されています。

## ポートフォリオ

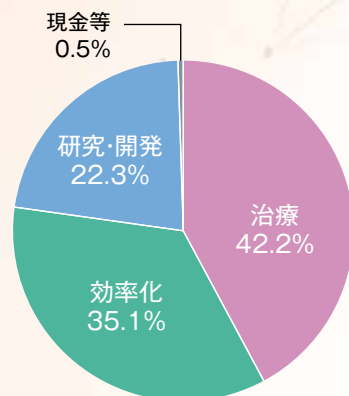
71銘柄 (2020年12月末現在)

ポートフォリオの詳細は13ページをご覧ください。

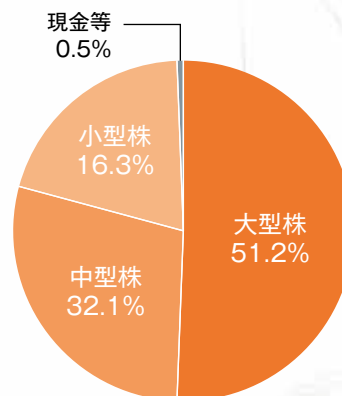
# ポートフォリオについて (2020年12月末現在)

ファンドが主要投資対象とする外国投資信託と同一ファンドの別シェアクラス(米ドルクラス)の組入状況

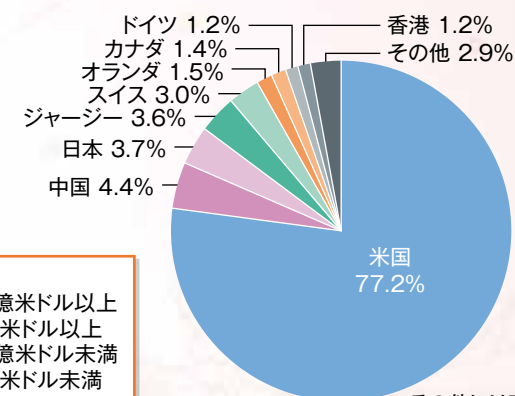
サブテーマ別構成比率



規模別構成比率



国・地域別構成比率



時価総額  
大型株：100億米ドル以上  
中型株：25億米ドル以上  
100億米ドル未満  
小型株：25億米ドル未満

その他には現金等を含みます。

業種別構成比率

| 業種                | 比率    |
|-------------------|-------|
| バイオテクノロジー         | 28.9% |
| ヘルスケア・テクノロジー      | 23.8% |
| ヘルスケア機器           | 21.8% |
| ヘルスケアサービス         | 6.7%  |
| ライフサイエンス・ツール/サービス | 6.2%  |
| 管理健康医療            | 2.8%  |
| アプリケーション・ソフトウェア   | 2.3%  |
| ヘルスケア・ディストリビュータ   | 2.2%  |
| 保険ブローカー           | 1.7%  |
| 薬品小売り             | 1.3%  |
| インターネット販売・通信販売    | 1.2%  |
| 情報処理・外注サービス       | 0.5%  |
| 医薬品               | 0.3%  |
| 現金等               | 0.5%  |

組入上位10銘柄

組入銘柄数:71銘柄

|    | 銘柄名              | 国・地域  | 業種              | 時価総額(億米ドル) | 組入比率 | サブテーマ |
|----|------------------|-------|-----------------|------------|------|-------|
| 1  | テラドック・ヘルス        | 米国    | ヘルスケア・テクノロジー    | 290        | 3.9% | 効率化   |
| 2  | デクスコム            | 米国    | ヘルスケア機器         | 355        | 3.6% | 治療    |
| 3  | ノボキア             | ジャージー | ヘルスケア機器         | 176        | 3.6% | 治療    |
| 4  | ガーダントヘルス         | 米国    | ヘルスケアサービス       | 129        | 3.2% | 研究・開発 |
| 5  | ザイ・ラボ            | 中国    | バイオテクノロジー       | 119        | 2.8% | 治療    |
| 6  | シュレーディング         | 米国    | ヘルスケア・テクノロジー    | 55         | 2.8% | 研究・開発 |
| 7  | エムスリー            | 日本    | ヘルスケア・テクノロジー    | 640        | 2.7% | 効率化   |
| 8  | イグザクト・サイエンシズ     | 米国    | バイオテクノロジー       | 211        | 2.4% | 治療    |
| 9  | ヴィーバ・システムズ       | 米国    | ヘルスケア・テクノロジー    | 412        | 2.4% | 効率化   |
| 10 | ニュアンス・コミュニケーションズ | 米国    | アプリケーション・ソフトウェア | 126        | 2.3% | 研究・開発 |

比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。各比率の合計は四捨五入の関係により100%とにならない場合があります。

出所:クレディ・スイス・アセット・マネジメントからの情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# ポートフォリオについて

## サブテーマ別銘柄例：治療

### ノボキア

|      |         |
|------|---------|
| 国・地域 | ジャージー   |
| 業 種  | ヘルスケア機器 |

#### がん細胞の増殖を阻害する電極パットを開発

2000年創業。

がん治療機器を開発する英系メーカー。2011年に米国食品医薬品局(FDA)の承認を受けた医療機器「オブチューン」を開発。「オブチューン」は外科手術や放射線治療の後に、電極パットを貼ることで使用され、膠芽腫(悪性脳腫瘍)の増殖を防ぐ持ち運び可能な非侵襲性の医療機器として注目される。15年には、日本の厚生労働省からも再発した膠芽腫の治療に使用する治療用装置として承認を得た。2012年 日本法人設立。



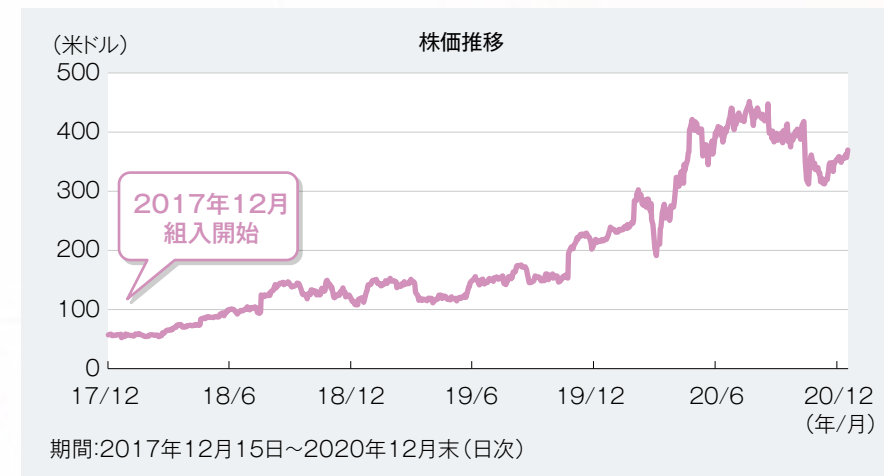
### デクスコム

|      |         |
|------|---------|
| 国・地域 | 米国      |
| 業 種  | ヘルスケア機器 |

#### 世界で最も正確な血糖値センサーの技術を保有

1999年創業。

糖尿病患者の血糖管理をサポートする持続血糖測定器を製造し、同分野で世界トップシェアを誇る。同社の「DexCom G6」は2018年3月、米国食品医薬品局(FDA)の承認を受ける。スマートウォッチなど、その他電子デバイスなどと連携し、リアルタイムで血糖管理を行うことができる。日本ではテルモ社が独占販売を行う。



出所:Bloombergのデータおよび各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# ポートフォリオについて

## サブテーマ別銘柄例：効率化

### テラドック・ヘルス

| 国・地域 | 米国           |
|------|--------------|
| 業 種  | ヘルスケア・テクノロジー |

遠隔医療分野のリーダー。2020年10月にリボンゴ・ヘルスを買収し遠隔医療ビジネス拡大へ

2002年創業。

世界最大規模のオンライン診療サービスを提供。契約者は同社の運営するオンライン診療サービスに24時間・365日アクセス可能で、医療専門家（医師や医療エキスパート）から診療・診断やアドバイスを受けることができる。300以上の病院、5万人以上の医師と提携し、450以上の医療専門分野をカバー。2015年～2019年の増収率は、平均で年率55%を記録した。

2020年10月に糖尿病や高血圧等の慢性疾患を対象としたデジタル医療管理サービスを提供するリボンゴ・ヘルスを買収。



### エムスリー

| 国・地域 | 日本           |
|------|--------------|
| 業 種  | ヘルスケア・テクノロジー |

2017年にフォーブスの「世界で最も革新的な成長企業ランキング」の世界5位（日本企業では1位）に選出

2000年創業。

多様な医療関連サービスを提供。医療従事者専門サイト「m3.com」で、専門医療情報に特化したニュース、検索エンジン、会員専用コミュニティサイトなどを提供。29万人以上の医師、19万人以上の薬剤師など、90万人以上の医療従事者が同サイトに会員登録。その他、製薬企業のMR（医薬情報担当者）が情報提供する「MR君」、転職支援の「エムスリーキャリア」など、幅広いサービスを手掛ける。2019年1月、LINE株式会社と共同出資し、オンライン医療事業を目的としたLINEヘルスケア株式会社を設立。



出所:Bloombergのデータおよび各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# ポートフォリオについて

## サブテーマ別銘柄例：研究・開発(R&D)

### ガーダントヘルス

| 国・地域 | 米国        |
|------|-----------|
| 業 種  | ヘルスケアサービス |

血液分析でがんの遺伝子情報を特定し効率的な治療が可能に。  
身体への検査の負担を軽減

2012年創業。

世界で初めて、がん細胞の遺伝子情報を血液などの体液のみで行う検査(リキッドバイオプシー、または液体生検という)を発売。血液中に流れ出したがん由来の遺伝子を検出、異常を早期に発見し、タイプにあった治療薬を見つけることが出来る。従来の検査方法と比べ約1/3の価格になる。また、がん患者100万人以上の腫瘍遺伝子を解析することでデータ収集を行い、ビッグデータをもとにがんの克服につなげる計画を表明している。この有望性には日本政府も着目。2017年12月よりがん遺伝子検査プロジェクト「SCRUM-Japan」でガーダントヘルスと共同で精度検証に着手している。2018年 日本法人設立。



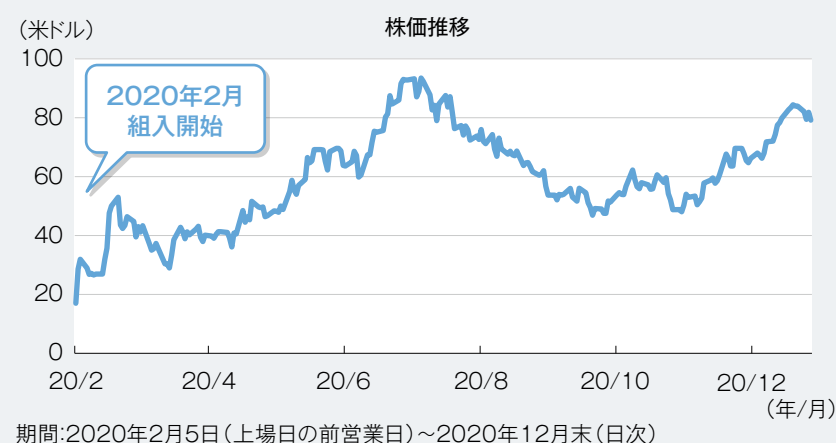
### シュレーディングー

| 国・地域 | 米国           |
|------|--------------|
| 業 種  | ヘルスケア・テクノロジー |

世界でも首位を争う化学シミュレーション・ソフトウェアの開発企業。  
バイオ医薬品業界の売上高別トップ20社すべてが顧客

1990年創業。

製薬およびバイオテクノロジーの研究向けの最先端の化学シミュレーション・ソフトウェアの開発事業を手がける。バイオ医薬品業界における医薬品開発のソフトウェア提供会社の大手。化学シミュレーション・ソフトウェアの予測力は科学者の研究開発を加速させるだけでなく、研究費の削減へと導く。2018年はバイオ医薬品業界の売上高別トップ20社すべてが同社の顧客。2011年 日本法人設立。



出所: Bloombergのデータおよび各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

上記の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 【ご参考】被買収企業例 (2020年12月末現在)

ファンドが主要投資対象とする外国投資信託と同一ファンドの別シェアクラス(米ドルクラス)の組入銘柄において、過去、14件の被買収事例がありました。中小型サイズの企業が多いデジタルヘルス分野のピュア・プレイヤーは買収のターゲットになりやすいと考えられます。



## 【ご参考】被買収銘柄例

ファンドが主要投資対象とする外国投資信託と同一ファンドの別シェアクラス(米ドルクラス)が過去に保有していた銘柄が買収された事例です。

### リボンゴ・ヘルス

2020年8月、米遠隔医療サービス大手のテラドック・ヘルスは糖尿病や高血圧等の慢性疾患を日常的にデータ管理・分析するデジタル医療管理サービスを提供するリボンゴ・ヘルスを185億米ドル(2兆円弱)で買収すると発表。

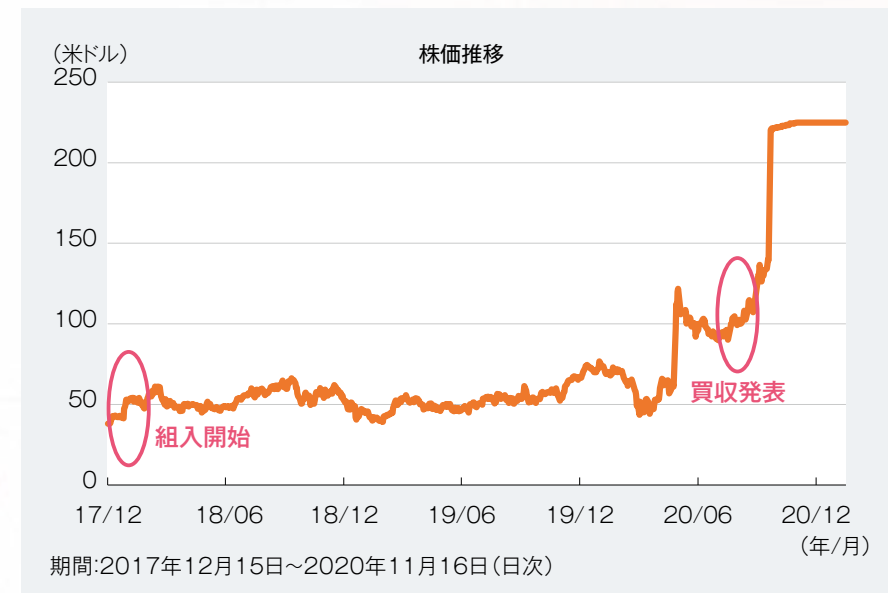
新型コロナウイルスの感染拡大で遠隔診療の利用が急速に広がる中、テラドック・ヘルスは規模を拡大して需要を取り込む。

買収により、米国の利用者数は約7000万人に達するとみられている。



### マイオカーディア

2020年10月、米製薬大手ブリストル・マイヤーズスクイブは米バイオ医薬品企業のマイオカーディアを131億米ドル(約1.4兆円)で買収すると発表。マイオカーディアは、重大なアンメット・メディカル・ニーズ(治療法が見つからない疾患に対する医療ニーズのこと)に応えるため、心血管系治療の革新に取り組んできた。ブリストル・マイヤーズスクイブはマイオカーディアが開発する心臓病の治療薬「マバカムテン」を取り込み、心血管疾患の領域を強化する。「マバカムテン」は2021年1～3月期にも米国食品医薬品局(FDA)に承認申請する見通し。



出所: Bloombergのデータおよび各種情報に基づきT&Dアセットマネジメントが作成

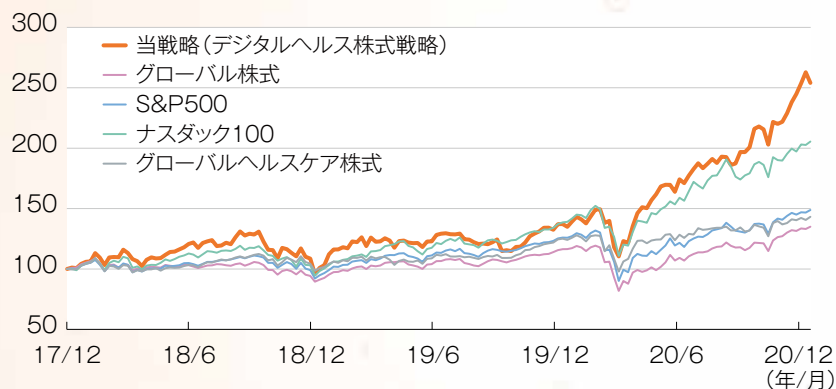
上記の企業は参考のために例示したものであり、当ファンドへの組入れを示唆・保証するものではありません。また個別銘柄を推奨するものではありません。

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# 【ご参考】当戦略の値動きの特性

ファンドが主要投資対象とする外国投資信託と同一ファンドの別シェアクラス(米ドルクラス)の設定来の値動きを各株価指数と比較しました。リスク・リターンとも高い値となりましたが、グローバル株式市場に対する追随率では、グローバル株式上昇時はより大きく上昇し、グローバル株式下落時は、下落率が抑えられる結果となりました。

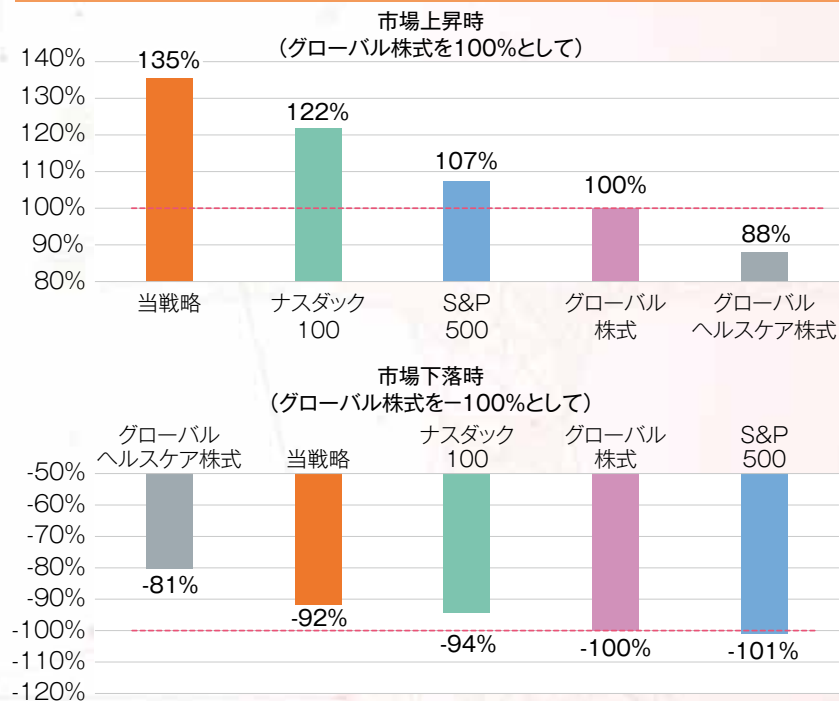
パフォーマンス比較



リスク・リターンと各株価指数との相関

|          | 当戦略   | グローバル株式 | S&P 500 | ナスダック 100 | グローバルヘルスケア株式 |
|----------|-------|---------|---------|-----------|--------------|
| 年率リターン   | 34.6% | 10.0%   | 13.5%   | 25.8%     | 12.1%        |
| 年率リスク    | 27.8% | 20.3%   | 21.8%   | 22.6%     | 19.8%        |
| リターン/リスク | 1.25  | 0.50    | 0.62    | 1.14      | 0.61         |
| 当戦略との相関  |       | 0.79    | 0.78    | 0.80      | 0.83         |

グローバル株式に対する市場追随率 (過去約3年)



期間:2017年12月15日~2021年1月1日(週次)

いずれも米ドル建て

当戦略は「クレディ・スイス (ルクセンブルク) デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド(米ドルクラス)」の  
 グロスリターンから、当ファンドにかかる信託報酬(年率、税込:2.188%)を控除したものの  
 パフォーマンス比較は2017年12月15日を100として指数化

使用したデータについては、最終ページの「当資料で使用するデータについて」をご参照ください。

出所:クレディ・スイス・アセット・マネジメント、Bloomberg、MSCI、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの  
 データに基づきT&Dアセットマネジメントが作成

記載のデータは過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# クレディ・スイス・グループおよび クレディ・スイス・アセット・マネジメントについて

**クレディ・スイス**は1856年にスイスのチューリッヒで設立された世界有数の金融機関で、世界50カ国以上に拠点を持ち、約48,800人の従業員を有しています。

**クレディ・スイス・アセット・マネジメント**はクレディ・スイスの一員として1935年にスイスのチューリッヒで設立され、グローバルな顧客に対して資産運用事業を行っています。世界屈指のオルタナティブ運用会社の1つであり、チューリッヒ、ミラノ、ニューヨーク、シンガポール、香港に運用の拠点を置いています。

(2020年9月末時点)

## クレディ・スイス・アセット・マネジメントの運用資産残高

**4,760億米ドル 約50兆円**

2020年9月末時点 1米ドル=105.8円で換算



## ファンドの運用責任者

ファンドが主要投資対象とする外国投資信託の運用担当者です。



リード・ポートフォリオ・マネジャー  
**トーマス・アムレイン (CFA協会認定証券アナリスト)**

20年以上にわたり、ヘルスケア・セクターを担当  
2002年10月からグローバル株式チームのポートフォリオ・マネジャーを務めている。  
1996年にクレディ・スイスに入社。  
ザンクトガレン大学で経営管理の修士号を取得。  
バーゼル大学およびETHチューリッヒ (スイス連邦工科大学チューリッヒ校) のバイオテクノロジーの大学院コースにも参加した経歴を持つ。



ポートフォリオ・マネジャー  
**ファン・リュウ (CFA協会認定証券アナリスト)**

2011年にIMD (スイスのローザンヌに拠点を置くビジネススクール) の学術研究者となり、中国とヨーロッパの消費者およびTMT (テレコム・メディア・テクノロジー) セクターにおける企業戦略とイノベーションを専門分野としていた経験を持つ。  
2020年2月にグローバル株式チームに加わる。  
HECローザンヌ (ローザンヌ大学のビジネス経済学部) で経営学の修士号を取得。  
グローバルゼーションに関する研究について共同執筆を行う。

# ファンドの投資リスク

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

|          |                                                                                                                                                         |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株価変動リスク  | 株式の価格は、発行企業の業績や財務状況、市場・経済の状況等を反映して変動します。特に企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株価が大きく下落し、基準価額が値下がりする要因となります。                                                        |
| 為替変動リスク  | 実質的な外貨建資産は通貨の価格変動によって評価額が変動します。一般に外貨建資産の評価額は、円高になれば下落します。外貨建資産の評価額が下落した場合、基準価額が値下がりする要因となります。                                                           |
| カントリーリスク | 投資対象国・地域の政治経済情勢に混乱が生じた場合や新たな通貨規制・資本規制が設けられた場合は、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が値下がりする要因となります。                                                                      |
| 流動性リスク   | 市場規模や取引量が小さい場合や、市場の混乱、取引規制等のために、取引が行えない場合、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。また、ファンドに大量の資金変動が生じた場合等には機動的に有価証券を売買できない場合があります。これらの場合には、基準価額が値下がりする要因となります。 |

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

## 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 分配金に関する留意点
  - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  - ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  - ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

# お申込みメモ、ファンドの費用

## お申込みメモ

|        |         |                                                                                                           |
|--------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時    | 購入の申込期間 | 当初申込期間：2021年4月5日から2021年4月15日まで<br>継続申込期間：2021年4月16日以降                                                     |
|        | 購入単位    | 販売会社が定める単位(当初元本 1口=1円)<br>詳しくは販売会社にお問い合わせください。                                                            |
|        | 購入価額    | 当初申込期間：1口当たり1円<br>継続申込期間：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額                                                               |
| 換金時    | 換金単位    | 販売会社が定める単位                                                                                                |
|        | 換金価額    | 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額                                                                                        |
|        | 換金代金    | 原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。                                                                         |
| 申込締切時間 |         | 当初申込期間：当初申込期間の最終日(2021年4月15日)の午後3時までに販売会社が受付けたものを申込受付分とします。<br>継続申込期間：原則として午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 |
| 信託期間   |         | 2026年4月13日まで(2021年4月16日設定)                                                                                |
| 決算日    |         | 4月11日(休業日の場合は翌営業日)<br>初回決算日は2022年4月11日です。                                                                 |
| 収益分配   |         | 年1回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。販売会社との契約によっては税引き後無手数料で再投資が可能です。<br>ただし、必ず分配を行うものではありません。                   |
| 申込不可日  |         | 下記のいずれかに該当する日には、購入・換金の申込はできません。<br>・ニューヨーク証券取引所の休業日<br>・ロンドンの銀行の休業日<br>・ルクセンブルクの銀行の休業日                    |

## ファンドの費用

### ◆投資者が直接的に負担する費用

|         |                                                                                   |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料  | 購入価額に、 <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。<br>詳しくは販売会社にお問い合わせください。 |
| 信託財産留保額 | ありません。                                                                            |

### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

|                  |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運用管理費用<br>(信託報酬) | ファンド          | 毎日、ファンドの純資産総額に <b>年1.188%(税抜1.08%)</b> の率を乗じて得た額とします。                                                                                                                                                                                                                                                              |
|                  | 投資対象とする外国投資信託 | 外国投資信託の純資産総額に対し、上限年率1.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|                  | 実質的な負担        | <b>年2.188%(税抜2.08%)程度</b><br>ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。                                                                                                                                                                                                                           |
| その他の費用・手数料       |               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。</li> <li>・証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産中から支弁します。</li> <li>・組入外国投資信託においても、管理会社費用、管理事務代行費用、登録および名義書換事務代行費用、取引費用、弁護士費用、監査費用等がかかります。</li> </ul> <p>これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p> |

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

# ご留意事項

## ご留意いただきたい事項

- 当資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料です。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料で使用するデータは過去の実績もしくは表記時点での予測であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社にてご入手いただけます。

## 当資料で使用するデータについて

当資料にて使用した各株価指数のデータはトータルリターンを使用しています。

グローバル株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス

グローバルヘルスケア株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・ヘルスケア・インデックス

MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。

MSCIオール・カンントリー・ワールド・ヘルスケア・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、新興国を含む世界の主要国のヘルスケアセクターの株式市場の動きを捉える指数です。

同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

当資料中に引用した各インデックス（指数）の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 照会先

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

電話番号：03-6722-4810

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ：<https://www.tdasset.co.jp/>

## ファンドの関係法人

**委託会社：T&Dアセットマネジメント株式会社**

信託財産の運用指図等を行います。

**受託会社：三井住友信託銀行株式会社**

信託財産の保管・管理業務等を行います。